

白布ヶ丘だより

5月

…学校と家庭・地域の架け橋…

発行 栃木県立真岡高等学校


〒321-4331 栃木県真岡市白布ヶ丘24番地1
TEL 0285-82-3413 FAX 0285-82-2913

いつの間にか白布ヶ丘の大櫨の若葉の色も濃くなり、校庭の人工芝よりも深い緑色になりました。5月は風薫る心地のよい季節とよくいわれますが、日中かなり高温になったり、朝夕かなり冷え込んだりする日もあります。県内では5月に入ってもインフルエンザの流行が続いており、体調管理には十分注意してほしいものです。5月には、生徒総会、中間テスト、校内体育大会等のさまざまな行事があります。学習はもちろんのこと学校行事や生徒会活動など、何事にも主体的に取り組み、全力で当たってくれることを期待します。ご家庭でも学校での出来事を話題にして、生徒たちの成長を見守り、応援していただきたい思います。

創立記念式 記念講演会(金井正氏)

本校の創立記念日は4月20日ですが、ここ数年は他の行事と日程を合わせて創立記念式と記念講演会を実施しています。今年は、昨年同様PTA総会と日程を合わせ、創立118年目を迎える本校の創立記念式と記念講演会を4月28日(金)に実施しました。

菊地透校長からの創立記念式式辞を紹介いたします。まず、本校の沿革について、明治33年、西暦1900年に地元地域の熱い要望と支援を受けて「栃木県第三中学校」として開校。校名は4度の変遷があり昭和26年4月1日から栃木県立真岡高等学校となった。旧校舎本館が「記念館」として第2棟の北に移され国指定の有形文化財として登録された。老朽化による一昨年度の耐震改修工事に大塚実氏(栃大塚商会の創業者)から特段のご支援をいただいた。さらに、昨年度、校庭の大改修工事(サッカー場全面と野球場の外野部分の人工芝化、陸上の走路の高速ウレタン舗装)も大塚実氏の全額寄付によるものである。

また、校庭にある二人の偉大な先輩の胸像のこともふれ、「野澤一郎育英会」により現在でも本県教育の発展に大きく寄与されている野澤一郎氏(栃巴コーポレーションの創業者)の残された「百鍊鉄」。大塚実氏が贈ってくれた「大志を抱き精魂を傾ける」という言葉。それぞれの意味するところを十分に考えること。昭和9年に制定されて以来、
変わらぬ歌い継がれてきた校歌について、「古き歴史に新しき光添えなん」の「なん」は強い意志を表す言葉であり、先人が築いてきた社会を引き継ぐに止まらず、新しい光を当ててさらに前に進めることのできる力、その力の源となる知識や思考力、判断力、それらを生かすための精神の強さと実践力を本校で身に付けてほしいことなどを話されました。

校長式辞に続き、吹奏楽部の伴奏で校歌が斉唱され、力強い生徒の歌声が講堂に響きました。

〈生徒と校歌を歌う金井先生〉

記念式の後、本校同窓生の金井正氏より「私の生きてきた時代から見た、これからの時代の生き方」と題しての講演がありました。金井氏は、昭和48年度に本校を卒業、宇都宮大学に進学されました。卒業後は中学校の教員として教鞭をとられ、若くして県の教育委員会事務局で教育行政に携わり、先生方の研修を行う総合教育センター所長として活躍されました。その後、県教育委員会教育次長としても手腕を発揮され、現在は、白鷗大学の教授として、指導者の資質向上や学校全体を動かすためのマネジメント等の研究を進めながら、教員を目指す学生を指導されています。



講演では、まず「過去をしっかりと知り、現在を生き、将来を明るくして欲しい」、「不易な部分と変えなければいけないことがあることを知って欲しい」との希望を述べられました。

次に、お祖父様が肥桶を担いでいる写真をスクリーンに投影されました。楽な生活ではなかったが充実したいい顔になっている。夢を実現しようとするといいい顔になることから、夢があるから努力できると話されました。進路選択については、中学の先生から大学進学を勧められ、大学に行くためには真岡高校に行くのが良いと助言があったそうです。中学2年からいつまで何をやるか計画を立てて勉強し、男子校の真高で勉強に集中できたことや大学出たての2年の副担の数学の先生に丁寧に指導を受けたこと、修学旅行の帰りに憧れの女子高生と同じ車両になりいろいろと話をしたこと。大学進学時にはさまざまな進路を考え、最終的には教育学部に進学し、教育は人を育て人の夢をかなえるということだと考えるようになったこと。教育委員

会事務局に勤務し、一生懸命やっているときによくやっているよと声をかけてくれた先輩がいたこと、そしてその方が高2のときの数学の先生だったこと等を話して下さいました。また、当時の機械化が進展する貴重な写真をスクリーンに映す等、終始わかりやすく丁寧な語り口で講演していただきました。

最後に、夢が情熱に、目標が粘り強さに、志がやり抜く力につながることで、有用な人材が集まっているのが真高であり、真高で学ぶ喜びを深く自覚し、未来を明るくするために自分自身を鍛えてほしいという励ましの言葉が生徒に贈られました。

P T A 総会開催

創立記念式・記念講演会と同日の4月28日(金)にP T A総会が開催されました。

平成28年度の行事と決算の報告後、29年度の行事・予算などが承認されました。役員改選では、富山英幸会長が新任されました。

新執行部は以下の方々です。(敬称略)よろしくお願ひいたします。

	氏名		支部名
会長	富山 英幸	新任	大内
副会長	川口 真一郎	再任	真岡
〃	松本 弘行	再任	真岡東
〃	菊島 均	再任	益子
〃	鈴木 正行	再任	真岡
〃	田尻 正喜	新任	真岡
監事	村山 康弘	再任	真岡東
〃	関根 良和	再任	茂木
〃	久保 孝幸	新任	市貝
書記	入野 克則	新任	芳賀
会計	樋口 貴則	新任	真岡

※今年度の出席率は約42%(昨年度44%)

部活動加入状況 — 文武両道を目指して —

4月12日(水)、1年生対象に部や同好会がそれぞれ趣向を凝らしたPRを行う部活動説明会がありました。4月13日(木)放課後の部活動加入集会で届出が出され、4月17日(月)に部活動加入調査が行われました。今年度の加入率は下の表の通りです。

部活動加入率(%)

	1年	2年	3年	全体
運動部	69.0	56.3	67.2	64.2
文化部	16.5	20.6	11.6	16.2
同好会	4.0	6.0	5.6	5.2
合計	89.5	82.9	84.3	85.6

今年度の加入率は全体で85.6%で、昨年同期を4.5ポイント上回っています。例年に比べ多くの生徒が部活動に加入しています。

運動部への加入率も昨年同様、全体で6割を越え、特に、1、3年生の加入率の高さが目立ちます。

部活動別に見ると、最も大所帯となったのがサッカー部



<サッカー部の大陣営>

の141名で、本校生の5人に一人以上がサッカー部員で、続いて野球部が51名、バドミントン部が35名、バスケットボール部が25名、陸上競技部が21名となっています。文化部では、吹奏楽部が最多27名で、続いて天文部が22名です。

多くの生徒が部活動に加入していることは、本校生の学校生活に対する積極的な姿勢の表れであり、勢いを感じます。

現在、栃木県総合体育大会等の各種大会が行われており、真高生の活躍の様子が聞こえてきています。5月15日現在、空手道部、バレーボール部、陸上競技部の関東大会出場が決定しています。応援よろしくお願いします。



5月・6月の行事予定

<5月>

- 12日(金) 生徒総会 生徒会役員選挙告示
1年応援練習
全統記述模試(3年~13日)
- 13日(土) 高校総体開会式 土曜開放
サタデーセミナー(1, 2年)
- 19日(金) 心理(Q-U)テスト(1, 2年LHR)
奉仕活動(3年LHR総合)
- 20日(土) 土曜開放
- 22日(月) 中間テスト(~24日)
- 25日(木) 春季生徒会リーダー研修会
- 26日(金) 腎臓検診(再回収)
RCAP進路適性検査(1年)
進学指導会(3年LHR)
- 27日(土) 土曜開放
- 29日(月) 教育実習開始
- 30日(火) 第56回校内体育大会
- 31日(水) 平日課外

<6月>

- 1日(木) 上着なし登校許可
校内体育大会予備日
- 2日(金) 生徒会立会演説会・選挙 学習実態調査 進研マーク模試(3年)
第2回P T A理事会
- 3日(土) サタデーセミナー(1, 2年)
進研マーク模試(3年) 土曜開放
- 4日(日) 英検
- 6日(火) 眼科検診
- 7日(水) 内科検診
- 8日(木) 第2回校内模試(3年~9日)
第1回学力テスト(1・2年)
- 9日(金) 進学資料読書会(LHR)
実習生による進学座談会
- 10日(土) 土曜開放

※サタデーセミナーとは

本校では生徒の学力向上のため、土曜日を利用したサタデーセミナーを行っています。

1・2年生は全員を対象として原則月1回、国語・数学・英語の問題演習などを実施しています。授業に関連させて進めますので、欠席しないようお願いいたします。3年生は希望者を対象に理科・地歴の講座を開講しています。